



2018年8月14日

各 位

会 社 名 ディーブイエックス株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 千葉 茂  
 (コード番号：3079 東証第一部)  
 問合せ先 取締役執行役員 平能 直弘  
 電 話 03-5985-6827

## Spectranetics 社製品の取扱いに関するお知らせ

当社並びに Spectranetics Corporation (米国、以下「SPNC 社」といいます。) 及び株式会社フィリップス・ジャパン (以下、「フィリップス・ジャパン社」といいます。) は、当社が保有しているエキシマレーザ血管形成システム (関連製品を包括して以下、「本製品」といいます。) に関する日本国内における製造販売業の承認を、2018年12月31日をもって株式会社フィリップス・ジャパン社に移管すること、及び当社と SPNC 社の間で締結している本製品に関する日本国内独占販売契約 (以下、「本契約」といいます。) を 2020年12月31日まで延長するとともに、現在と同条件での本製品の独占販売期間を下記のとおり定めることに合意したのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 本製品の独占販売期間

| 本製品の構成品           | 本契約延長期間における独占販売期間     | (ご参考)<br>2018年3月期売上高<br>(単位：百万円) |
|-------------------|-----------------------|----------------------------------|
| エキシマレーザ血管形成装置     | 2019年1月1日～2019年12月31日 | 140                              |
| エキシマレーザ血管形成用カテーテル | 2019年1月1日～2019年12月31日 | 541                              |
| リードマネジメント製品       | 2019年1月1日～2020年12月31日 | 277                              |
| 血管狭窄部貫通用カテーテル     | ～2018年12月31日          | 4                                |
| (計)               |                       | 962                              |

(ご参考) 本製品に関する取引の内容

- (1) 取引先名 Spectranetics Corporation (米国)
- (2) 取引の種類 本製品の輸入仕入並びに日本国内における独占販売
- (3) 売上高及び総売上高に対する比率 (2018年3月期実績)

売上高 1,111 百万円 (総売上高に対する比率 2.9%)

(注) 前掲「本製品の構成品」以外の本製品に関連する売上高 148 百万円を含みます。

## 2. 当該合意に至った経緯

当社は、2003年9月以降、SPNC社が製造する本製品の日本における総代理店として、SPNC社から本製品を輸入し、日本全国の医療機関に対して販売活動を行っております。本製品の販売開始以降、SPNC社とは良好な関係のもと、これまで本契約を更新してまいりました。2017年8月、オランダRoyal Philips社によるSPNC社の買収が完了して以降、当社は、SPNC社、Royal Philips社及び同社の日本法人であるフィリップス・ジャパン社との間で本契約の延長について協議をおこなってまいりました。

当社としては、日本国内における製造販売業の承認移管業務に対する収益、独占販売期間及びその終了後の取引継続による収益の観点等から適切な利益を確保したうえで合意することができたものと認識しております。

## 3. 業績に与える影響

当期(2019年3月期)については、2019年12月(2020年3月期第3四半期)までは現在販売中の主要なSPNC社製品の独占販売が継続し、本製品の日本国内における製造販売業の承認移管業務に対する収益が見込まれますが、当該収益のうち現在確定している額及びその他当社の事業状況などを総合的に勘案すると、業績に与える影響は軽微であるため、2019年3月期第2四半期累計期間及び通期の業績予想については変更いたしません。

## 4. 来期以降の見通し

本製品に関するビジネスについては、2020年12月31日まで本契約を延長し、独占販売代理店及び非独占販売代理店の立場で販売を行いながらフィリップス・ジャパン社との良好な協力関係のもと、既存顧客を中心に本製品の需要拡大を図ってまいります。また、当社としては、総売上高の87.8%(2018年3月期実績)を占める主力事業である不整脈事業の全国展開を進めており、不整脈市場の拡大を背景に、引き続き同事業での増収が見込めると認識しております。さらには、新製品の導入についても、映像関連商品をはじめとして随時導入を図っており、虚血事業等においても、新商品の投入、自社開発への取組みを継続することで、中長期的に業容の拡大を目指してまいります。

以上